

無リン

医薬用外劇物に該当しません



ゆで麺器やゆでカゴの スケール・垢に お困りではありませんか？

業務用 酸性・粉末 ゆで麺器専用スケール除去剤

ニイタカ 無リンゆで麺器洗浄剤SP



業務用 アルカリ性・粉末 ゆで麺器専用麺垢除去剤

ニイタカ ゆで麺器洗浄仕上剤

それぞれの汚れに効果のある2剤を連続して使って、
ゆで麺器に付着したスケールと麺由来の垢汚れを除去します。

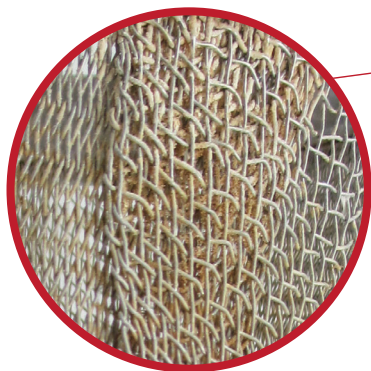
あきらめていた汚れが落とせます。

(無リンゆで麺器洗浄剤SP単独での使用も可能です)

一 洗浄試験結果 一

目地に汚れがびっしり

放置すると異物混入の原因に…



目詰まりスッカリ

輝きが戻りました

ラーメン店のゆでカゴ。
無リンゆで麺器洗浄剤SPとゆで麺器
洗浄仕上剤を連続して使用した。
(2015年10月実施)

特 長

ゆで麺器の2つの汚れに効果あり

スケールは使用水に含まれているカルシウムやマグネシウムなどが主成分です。これは酸で溶かすしか除去できません。一方、垢汚れは麺に含まれるタンパク質やデンプンが変質したものです。この汚れにはアルカリや漂白剤が効果的です。そこで、まず酸でスケールを、次にアルカリと漂白剤で垢汚れを除去します。

どんな麺の汚れにも対応

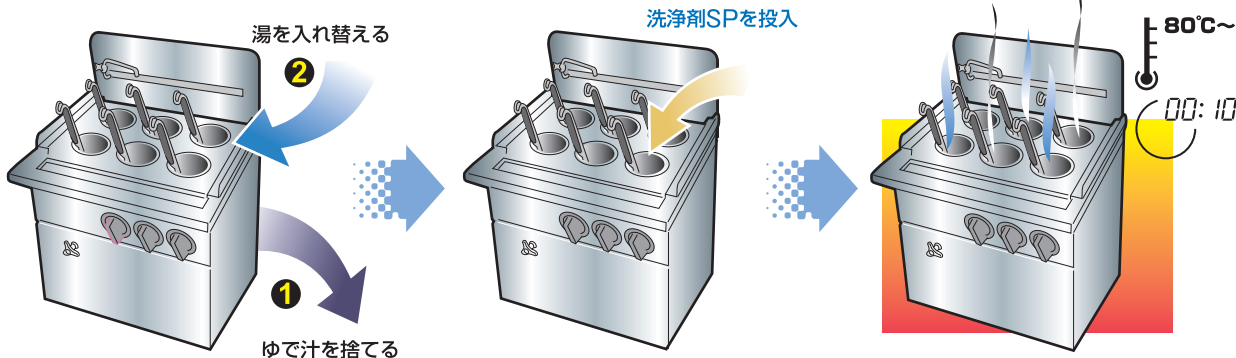
パスタ、ラーメン、そば、うどんなど和洋中いずれの麺のゆで麺器にも対応します。無リンゆで麺器洗浄剤SPはステンレスの腐食を防ぐ効果がありますので、安心してお使いいただけます。

この洗浄方法と洗浄剤は特許取得済みです。特許登録第4147135号「麺類調理装置用組成物及びその洗浄方法」

STEP 1 無リンゆで麺器洗浄剤SPで洗浄する

使用量： ゆで槽容量の水の重さの1.2%相当 例) 40リットルの場合、480g
【2.2kg入の場合】計量カップで約500mL 【500g入の場合】約1袋

- 1 ゆで槽にたまった液(ゆで汁)を排水し、湯を入れ替えます。
- 2 無リンゆで麺器洗浄剤SPを計量し、ゆで槽に投入します。(ゆでカゴもそのままにする)
- 3 80℃以上に加熱して、10分間放置し、加温を止めます。

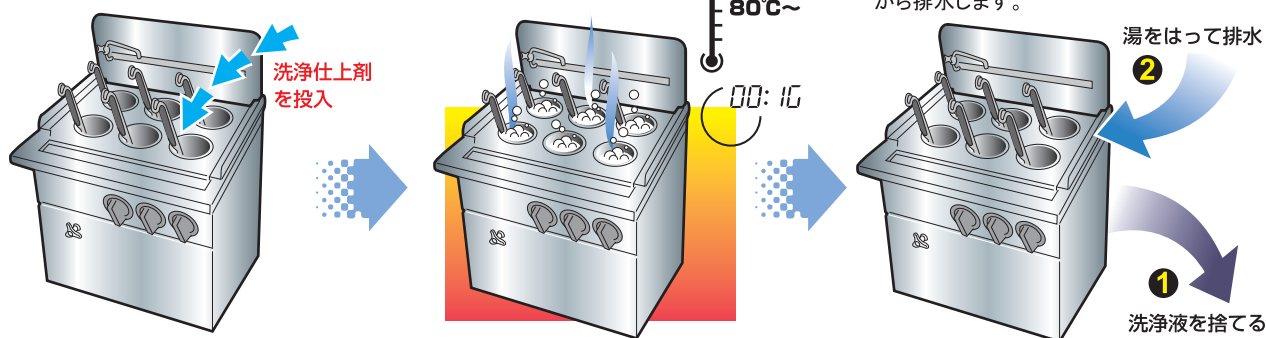


STEP 2 ゆで麺器洗浄仕上剤で洗浄する

使用量： ゆで槽容量の水の重さの2.0%相当 例) 40リットルの場合、800g(計量カップで約900mL)

STEP 1 の最後の状態からつづく。

- 1 計量したゆで麺器洗浄仕上剤を少しずつまんべんなく投入します。
- 2 80℃以上の状態で、10分間放置します。
- 3 排水し、各部品を外して湯でよくすすぎます。最後に、ゆで槽内をいったん湯で満たしてから排水します。



⚠ 使用上の注意

- 作業時には保護メガネ、ゴム手袋を着用してください。
- 上記手順は通常の汚れに対する洗浄法です。重度の汚れの場合は、洗浄作業を繰り返し行ってください。
- 標準使用濃度を必ず守ってください。過剰な濃度で使用すると、ゆで麺機が腐食する恐れがあります。
- ステンレス (SUS304、316) 以外の洗浄に使用しないでください。
- 一度に大量の洗浄仕上剤を投入しますと、泡があふれることがあります。
- ゆで麺機の加熱部や排水部で目詰まりを起こしている場合は、充分に除去できないことがあります。
- ほかの薬剤・洗浄剤などと混ぜないでください。
- 黒い粒が入ることがありますが、品質上問題ありません。
- ご使用にあたっては、製品容器に記載の「使用上の注意」と「使用方法」を必ず読んでお使いください。

商品データ

品名	無リンゆで麺器洗浄剤 SP 2.2kg	無リンゆで麺器洗浄剤 SP 500g	ゆで麺器洗浄仕上剤 3.5kg
荷姿	2.2 kg × 3 袋 / ケース	500g × 8 袋 / ケース	3.5 kg × 4 本 / ケース
商品外寸※	115 mm × 200 mm × 295 mm	225 mm × 165 mm × 15 mm	206 mm × 132 mm × 293 mm
ケース外寸※	321 mm × 146 mm × 208 mm	276 mm × 196 mm × 95 mm	418 mm × 278 mm × 301 mm
積重可能段数	3 段		
商品コード	238860	238861	238560
JANコード	4975657229141	4975657229158	4975657230277
ITFコード	-	14975657229155	-

※外寸は長さ × 幅 × 高さ です

成分表示など

無リンゆで麺器洗浄剤 SP
 ◆液性 酸性
 ◆成分 スルファミン酸、有機酸、腐食防止剤、安定化剤
 ゆで麺器洗浄仕上剤
 ◆液性 アルカリ性
 ◆成分 アルカリ剤、過炭酸ナトリウム(酸素系)、カルボン酸塩、非イオン系界面活性剤、消泡剤